

民生委員・児童委員の活動を発信!!

Well ウエル

29
2013.7

おおさか

特集

第65回
大阪府民生委員児童委員大会

◎イキイキ ハツラツ
民生委員・児童委員さん
高石市民生委員児童委員協議会

民児協だより
茨木市民児協／大東市民児協
羽曳野市民児協／泉南市民児協





特集

第65回

大阪府民生委員 児童委員大会

日時 平成25年5月15日 13時～15時30分

会場 大阪国際交流センター 大ホール

5月15日、第65回大阪府民生委員児童委員大会が大阪国際交流センターにて開催されました。

当日は、大阪府内の民生委員・児童委員をはじめ、多数の来賓が出席し、活動事例の発表や永年活動者への表彰、記念講演等が行われました。

今回の大会では、寝屋川市民児協の山谷敬子会長が司会を務められ、開会のことばで第一部の式典がスタートしました。「民生委員児童委員信条」や「児童憲章」前文の朗読などが行われた後、主催者あいさつとして、松井一郎大阪府知事のメッセージを植田浩大阪府副知事が代読。「大阪府では、真に災害に強いまちづくりや子育て、障がい者、高齢者の支援などの安全・安心のセーフティネットを確保する施策に取り組んでいる。



大阪府社会福祉協議会
紹山 哲男 会長



大阪府民児協連
羽原 義人 会長



大阪府
植田 浩 副知事



活動事例発表



「福祉バザーを開催することにより、民生委員同士のつながりを深まっている」と吹田市民児協の宮本修さん。平成23・24年度の収益は、東日本大震災支援のために寄付されたそうです。

活動事例発表では、吹田市民児協の宮本修さんが「民生委員による福祉バザーの取り組みについて」と題し、これまで35回に渡って開催されてきた福祉バザーの活動を紹介。「福祉バザーは、収益を吹田市内の福祉施設に寄付することと、活動を通じて吹田市民児協の活動を活性化することを目的に開催している。毎年大盛況で、地域の方々に深く浸透してきた。近年、バザー物品の提供が減ってきたことや、民生委員の高齢化による負担の増大などの課題はあるが、吹田市独自の取り組みとして続けたい」と発表を終えました。



●表彰状・感謝状授与者

厚生労働大臣特別表彰

13名

大阪府知事表彰

永年勤続民生委員

1名

会長・副会長表彰(10年勤続)

2名

永年勤続民生委員副会長表彰(10年勤続)

92名

永年勤続民生委員表彰(20年勤続)

1名

優良民生委員表彰(10年勤続)

70名

優良主任児童委員表彰(10年勤続)

4名

子どもさわやか賞

11団体および1名

社会福祉事務職員に対する

大阪府民生委員児童委員協議会連合会 会長感謝状 63名

府民のよき相談者・支援者である民生委員・児童委員のみなさまのお力添えが不可欠」と語りました。

次いで大阪府民児協連の羽原義人会長が「支援を必要とする人の孤立を防ぐため、寄り添う個別援助活動をさらに推進したい。また、12月の一斉改選を前に、新任の民生委員・児童委員がスムーズに活動できるような体制づくりを進めたい」と今年度の抱負を述べました。また、大阪府社会福祉協議会の総山哲男会長は「平成27年の生活困窮者支援施策の本格実施に向け、環境整備を行っていく。地域を熟知し、生活困窮者支援を担ってきた経験と実績を持つ民生委員・児童委員のみなまと力を合わせ取り組みたい」と協力を要請しました。



司会 寝屋川市民児協
山谷 敬子会長

65回大阪府児童委員大会



厚生労働大臣特別表彰 代表
寝屋川市民児協
赤山 末子さん



永年勤続民生委員会長・副会長表彰 代表
八尾市民児協
加賀 正一さん



永年勤続民生委員副会長表彰 代表
羽曳野市民児協
岡島 和子さん



永年勤続 民生委員表彰 代表
泉佐野市民児協
藤堂 重昭さん

第65回

大阪府民生委員児童委員大会 大会宣言

- 一、住民一人ひとりの置かれている状況や思いを真摯に受け止め、住民の立場に立った「寄り添う」個別援助活動を推進します。
- 一、複雑で困難な生活課題を抱え支援を必要とする人々への見守り・相談支援活動を着実に進め、地域住民とのつながりづくりに取り組み、孤立・孤独をなくすための活動を推進します。
- 一、子育て中の家庭を支えるとともに、子どもを児童虐待や犯罪被害から守り、子どもが健やかに成長できるよう取り組みます。
- 一、災害時に要援護者を地域全体で支えられるよう、平時からの活動を活かした安否確認体制や各種団体とのネットワーク構築に取り組みます。
- 一、東日本大震災で被災された人びとや被災地で活動する民生委員・児童委員のために、求められるあらゆる支援について全力で取り組むとともに、震災の風化を防止するよう働きかけます。
- 一、本年の一斉改選における円滑な引き継ぎや、新任民生委員・児童委員への情報提供などの体制づくりを図るとともに、組織活動や広報活動の強化など、民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりに努めます。

平成25年5月15日

第65回 大阪府民生委員児童委員大会



永年勤続主任児童委員表彰 代表
池田市民児協
明石 巧さん



優良民生委員表彰 代表
茨木市民児協
内浦 勇三さん

最後に、あらゆる人々が地域社会の一員として尊重される「福祉と共生のまちづくり」を実現する取り組みの推進を第65回大会宣言として採択し、第一部を終了しました。



優良主任児童委員表彰 代表
八尾市民児協
藤澤 美智子さん



大阪府民生委員児童委員協議会連合会会長感謝状 代表 能勢町
東 亮一さん

表彰状授与式では、183名の民生委員・児童委員と63名の福祉事務職員が表彰され、代表者に表彰状・感謝状が授与されました。今年度からは、地域でのボランティア活動に励む児童を表彰する「子どもさわやか賞」の贈呈も行われ、11団体及び個人1名が表彰されました。

「子どもさわやか賞」は、児童の生活が困難な状況にあっても家庭や学校において積極的な生活を送っている子どもや、自主的に地域活動やボランティア活動にいきいきと取り組む子どもたちに対して、大阪府民児協連より贈られる賞です。本年度は福祉活動や被災地支援、地域の美化活動など、幅広い活動に取り組む府内の11団体および1名が受賞されました。

大阪府民児協連 子どもさわやか賞表彰式 11団体・1名が受賞

今回、「子どもさわやか賞」を受賞された門真市の平川希望さんは、現在中学2年生です。平成24年12月に門真市で開催された「第30回青少年の主張」において、身体障がい者である祖父との生活体験とともに「ノーマライゼーション」について発表し、中学生の部において最優秀者に選ばれたことが今回の受賞につながりました。日頃、平川さんが取り組まれている活動やノマライゼーションに対する考え方などを紹介します。

「ノーマライゼーション」 社会をめざして



さまざまな活動を通して、
思いやりの心を育む

「ノーマライゼーション」とは、障がい者や高齢者も健常者と変わりなく社会の一員として尊重し、地域の中でともに生活する社会こそノーマルという考え方のことです。門真市での「青少年の主張」は、小中学生が将来の夢や社会に対する自分の考えを発表するもので、平川さんはその題材を探しているときに「ノーマライゼーション」を知り、「これまで自分がしてきた行動そのものだ」と感じたことから、身体障がい者である祖父との関わりや人を思いやることの大切さについてまとめたといいます。

平川さんの祖父は、交通事故により右足太ももから下を切断するとともに、体の右半分の神経が麻痺しました。そのリハビリのために約20年前から陶芸を始め、今では、老人ホームや小学校などで指導を行っています。平川さんは、そのお手伝いを保育園の頃から続けています。

また、地域のよさこいサークル「よさこいソーラン龍」に所属し、老人ホームで演舞を披露したり、小さい子どもや発達障がいを持つ同級生に踊りを指導するといった活動もされています。そうした環境の中で平川さんは、自然とノーマライゼーションの考え方を育んでいったようです。

ノーマライゼーションを
実行し、優しい社会へ

よさこいサークルの代表を務めている門真市民児協の畠智恵子さんは、平川さんに「困っている人がいたらスッと手を差しのべ、声をかけることができる子。よさこいで福祉施設を訪れた時も誰にでも話しかけられますし、サークルでも小さい子の面倒をよく見ていて」と語ります。母親の平川香織さんも「日頃から近所のお年寄りが重い荷物を持っていれば、家まで運ぶといったことをしているようです」と話します。

平川さんは「私のおじいちゃん」というタイトルでまとめた「青少年の主張」の中で、「人は、ふとした瞬間で事故に合つたりして、身体が自由になつたりします。だから、少し意識をして、人に優しくしたり、身体の不自由な方への配慮をすることで優しい社会になり、もっともつと「ノーマライゼーション」が広がっていくと思います」と記しています。「これからも思いやりを大切に、困っている人を手助けしていく」と、平川さんは語りました。



子どもさわやか賞 代表
門真市
平川 希望さん



受賞団体の 主な活動概要



児童委員、自治会役員と一緒に高齢者宅を訪問し、手渡しをしています。平成11年から現在まで継続されていて高齢者と子どもとの交流につながっており地域のつながり作りの一端を担っています。

吹田市

◎日本ボーリスカウト
大阪連盟 吹田地区第16団

地域の敬老会の開催にあたって敬老会会場の設営協力や高齢者の案内・誘導、送迎時のバスの乗り降りの介助、後片付け等に協力し高齢者から感謝される活動を永年継続して行っています。

池田市立池田小学校 6年生

「わたしたちのボランティア」をテーマに6年生の総合的な学習の一環で、地域の施設や商店街、公園等に定期的に出向き、お手伝い・介護・傾聴・遊び相手・清掃等を行っています。10年以上毎年6月～12月末の放課後1時間程度、週1回決まった施設で行っています。

○千里丘小学校校区 子ども会

子どもたちが手作り年賀状を作成し正月に育成会、民生委員・



富田林市

◎富田林市立錦郡小学校
6年生

地域とのふれあいを深める総合学習の一環として小学生が地元商店街に仮設店舗を設置し地域の人々と一緒に野菜、花、南河内物産のような活動が地域のコミュニティづくりにつながり、地域からも共感を呼んでいます。

◎大阪府河内長野市立美加の台中学校 生徒会（2年・3年）
平成23年6月より、生徒会を中心にして東日本大震災で被災した宮城県女川町立女川第二中学校との交流を行っています。被災中学校に横断幕を送ったり集めた義援金で生徒がデザインしたTシャツやハーフパンツを届けました。また、そのほかに平和教育や国際理解教育にも力を入れて取り組んでいます。

○松原市立河合小学校 6年生

子どもたちがPTAや民生委員などと一緒に朝の「あいさつ運動」に取り組んでいます。またその他、自主的に募金活動やテレホンカード、書き損じのはがきを収集し「視覚障がい者支援活動」に役立てる活動等も行っています。

○羽曳野市立丹比小学校 6年生

毎年小学生が丹精を込めて育てた鉢植えの花400鉢を登下校の安全見守り隊や町会、自治会の集会所に配布し共感性の高い活動として地域からも評価されています。

河内長野市

◎大阪府河内長野市立美加の台中学校 生徒会（2年・3年）

平成23年6月より、生徒会を中心

長瀬西小学校区 連合育成会

福祉委員会と併せて「育成会祭り」を開催し、校区の全ての方を参加対象とし、子どもから老人までが一緒に活動する機会となっています。この行事には、民生委員・児童委員、自治会、青少年指導協議会

東大阪市

学校の大半の生徒が参加し、村の活性化にもつながっています。

美化委員會

福祉教育の一環として、北小学校の4・5年生と地区福祉委員会、保護者が校区内を分担して清掃活動を行っています。教師、児童、福祉委員、保護司で小グループをつくり、グループ毎に分担場所を清掃しています。平成10年から継続して取り組んでいます。

大阪狭山市

会、防犯委員会などあらゆる地域団体が参加し連携の取れる地域活動を進めています。子どもたちも団体に所属して地域活動を行っています。



子どもさわやか賞について

【目 的】

大阪府民生委員児童委員協議会連合会は、困難な状況にあっても家庭や学校などにおいて積極的な生活を送っている子どもや、地域で高齢者や障がい者等との交流活動、公共の場の美化清掃などのボランティア活動を行っている個人・団体について、子どもたちのさわやかな活動の輪が広がり、大阪が子どもの夢あふれる街となるようにとの願いを込めて「子どもさわやか賞」をして表彰する。

【寒施主体】

大阪府民生委員児童委員協議会連合会

【表彰对象】

- 困難な状況にあっても、積極的に家族や隣人を助け、いきいきと生活している子ども
 - 高齢者、障がい者等との交流活動や介助を行っている子ども
 - 公共の場において美化清掃などボランティア活動を行っている子ども
 - その他、表彰の趣旨にふさわしい活動を行っている子ども

堺市

◎社会福祉法人南湖
児童養護施設
泉ヶ丘学院児童会

施設の子どもたちが老人ホームにボランティア活動を15年継続して行っています。毎週日曜日に中学生と高校生が交替で2名ずつ参加し施設の喫茶業務や利用者の話し相手となっています。老人ホームの利用者もこの活動を非常に楽しみにされており、共感性の高い活動になっています。

施設からの推薦団体

葉っぱの町 徳島県上勝町 葉っぱビジネスによる町の再生

第二部は、株式会社いどりの代表取締役社長である横石知二さんを招いての記念講演を行いました。野山の葉っぱを「つまもの」として高級料亭などに販売し、山間の町を再生した取り組みについてお話しいただきました。



＊「できない」という意識を変えていく
料理屋での会話がきっかけで
始めた葉っぱビジネス

そんなある時、大阪の中央卸売市場へ行き、その帰りに寄った料理屋で近くに座っていた女性がきれいな葉っぱを持って「かわいい」「押し花にしよう」と話しているのが聞こえてきたんです。きれいなハンカチに葉っぱを挟んで持つて帰る姿を見て、「これは値打ちがある、高齢者や女性にぴったりの仕事だ」と思って、急いで上勝へ帰りました。

そして、みんなを集めて明日から葉っぱを採ろうと話したのですが、「葉っぱがお金になるのか」「落ちてる葉っぱを拾うのは貧しい人がすることや」などと言われてしましました。それでも一軒一軒農家を説得し、事業を始め

くださいました。しかし、地域の人からは最初「よそもんなんかいれるな」と言われましたし、「ちからが何か始めよう」と「そんなことしたってあかんわ」とできない理由を見つけ逃げていきました。私は町の人々に反発されながらも「この考えを変えなければ地域はよくならない」と、自分に何ができるのかを考えていました。

＊「できない」という意識を変えていく
上勝町は、徳島県の山奥深くにある小さな町ですが、今は日本で一番元気な町といわれています。「葉っぱビジネスが起こした奇跡」などともいわれますが、小さな仕事を積み重ねてきたことの結果だと思います。

私が上勝町へやつて来たのは34年前のことです。徳島市で生まれ、新しいことに挑戦したいと思っていた私を、当時の上勝町長が「上勝で仕事をやってくれないか」とスカウトしてくれました。しかし、地域の人からは最初「よそもんなんかいれるな」と言われましたし、「ちからが何か始めよう」と「そんなことしたってあかんわ」とできない理由を見つけ逃げていきました。私は町の人々に反発されながらも「この考え方を変えなければ地域はよくならない」と、自分に何ができるのかを考えていました。

＊「人は役割を持つことで成長する
現在、上勝町では、平均年齢70歳という高齢者約200名が、葉っぱビジネスを一生懸命やっています。とても負けず嫌いで「隣に負けたくない」と、タブレット端末を駆使しながら仕事をしています。

高齢者は知識や経験をたくさん持っているので、それをどう引き出していくかが大事だと思っています。人は「出番がある」「認められる」「自信を持つ」ことで、磨かれていきます。その舞台を作ることが私の仕事です。私自身も町の人々から必要とされることのうれしさを感じています。そうした小さな幸せを積み重ねることに、人の幸せがあるのではないかと思っています。

＊「人は役割を持つことで成長する
ます。しかし、なかなか売れません。これではだめだと料理人の方に葉っぱを見ていただきたところ、「こんなもん使うか。料亭行ったことあるか。現場を知らないと」と厳しい言葉をかけられました。そこで、北海道から九州までお店を何千件と回って、どんな「一ズ」があるかを把握したことで、ようやく売れるようになりました。



●株式会社いどり 代表取締役社長
横石 知二さん

昭和33年徳島県生まれ。昭和54年に徳島県農業大学校卒業後、上勝町農協に営農指導員として就職。昭和61年に葉っぱビジネスの「彩(いどり)」を開発。山の資源を生かした商品の開発を始めます。平成21年5月より現職。

民生委員の欠員問題や多忙さが課題となる中、民生委員が活動を進めるうえで重要なのが地域の中のさまざまな団体との連携です。今回は特にボランティア団体や社会福祉協議会と連携しながら活動を進める高石市民児協の取り組みについて、山崎会長をはじめ各委員にお話を伺いました。



民生委員・児童委員さん

●高石市民生委員児童委員協議会●

第6回たかいしボランティア 市民活動フェスティバル開催

本フェスティバルの実行委員長であり高石市民児協の山崎会長



民生委員の欠員問題や多忙さが課題となる中、民生委員が活動を進めるうえで重要なのが地域の中のさまざまな団体との連携です。今回は特にボランティア団体や社会福祉協議会と連携しながら活動を進める高石市民児協の取り組みについて、山崎会長をはじめ各委員にお話を伺いました。

高齢者、障がいを持つ方々も参加され多くの人々で賑わいました。グループや個人の日頃のボランティア活動の発表・紹介の場となつておりこれからボランティア活動を始めようとしている人々に対し興味・関心を持つてもらいボランティアの輪を広げていくこ

とを目的として開催されています。また、今回は震災からの復興に願いを込め「絆みんなでつながろう ボランティアの輪」をテーマとし被災者の体験談による講演やNPO団体によるパネル展示、市内の障がい者施設の授産

とを目的として開催されています。また、今回は震災からの復興に願いを込め「絆みんなでつながろう ボランティアの輪」をテーマとし被災者の体験談による講演やNPO団体によるパネル展示、市内の障がい者施設の授産

高石市民児協の山崎会長は本フェスティバルの実行委員長となり民児協としても参画し、当 日は約50名の民生委員が参加しました。民生委員はワッペンとハッピを身につけて駅前と会場近くに4班に分かれ、ピラを配布し呼びかけ、来場者を会場まで誘導

● 高石市民児協も参加、
民生委員活動をPR



ハッピとワッペンをつけてPR活動を行う民生委員・児童委員

平成25年3月9日
アプラたかいし
大ホールにて開催





会場の様子



ステージ発表の様子



各出店ブースの様子

震災からの復興を応援する展示も多数。

民児協と他団体との連携について

高石市では民生委員の大半がさまざまなボランティア団体に参加しています。「ボランティア

PRする上でも絶好の機会となっています。一人でも多くの方に民生委員・児童委員を知ってもらいたい」とお話しされました。

高石市には7つの校区福祉委員会があり本フェスティバルにも多くの校区福祉委員が参加しています。「普段は校区の中でのサロン活動や食事会等の活動をそれで行っていることが多く、民生委員と校区福祉委員が協力して市全体で大きな催しを開催する機会はあまり持てません。この機会に地域で活動する団体が交流を深め協働してほしい、また、民生委員の活動の多忙化や、

今後の課題について

団体に所属する」とが民生委員活動の中だけでは見えない地域の情報を拾い集める絶好の機会となり日頃の活動につながっていく。たとえば障がい者の情報については民生委員活動の中だけでは見えにくいという課題を抱えていたが地域のボランティア団体と情報交換をする中で参考になることがたくさんある。民生委員が持つ情報と地域のボランティアが持つ情報を共有し活動に活かすことが大切だと山崎会長はいいます。

する案内役を担いました。来場した方には「社会福祉協議会とともにボランティア活動をお手伝いしています。」と記入された民児協が作成したタオルを500枚配布。参加委員は「子どもからお年寄り、また若い世代も参加されるイベントなので民生委員をPRする上でも絶好の機会となっています。一人でも多くの方に民生委員・児童委員を知ってもらいたい」とお話しされました。

団体に所属する」とが民生委員活動の中だけでは見えない地域の情報を拾い集める絶好の機会となり日頃の活動につながっていく。たとえば障がい者の情報については民生委員活動の中だけでは見えにくいという課題を抱えていたが地域のボランティア団体と情報交換をする中で参考になることがたくさんある。民生委員が持つ情報と地域のボランティアが持つ情報を共有し活動に活かすことが大切だと山崎会長はいいます。



パネル展示の様子



会場正面で参加賞のタオルを配布する民生委員。タオルには「社会福祉協議会とともにボランティア活動をお手伝いしています。」と掲載

なり手不足等の課題が深刻化する中、民生委員と地区福祉委員の役割分担を工夫したり、サロン等の持ち方を見直す等、地域を見守る団体が一丸となつて体制をつくることが今後の課題である」と山崎会長は結びました。

民児協だより

「北摂ブロック」

茨
木
市

「子ども・わいわい・ネットワーク茨木」 で子育て支援

楽しいマジック! ふしぎだなあ?!



茨木市民児協は、子育て支援として「子ども・わいわい・ネットワーク茨木」を民間主導の虐待防止のネットワークとして平成12年に発足させました。「茨木市を、安心して子どもを産み、楽しく子育てできるまちにしよう」のスローガンをかけ、市

内を3つのブロックに分け、3つの養護施設を拠点に活動をしています。

「わいわいエプロン」は民生児童委員が子どもたちを預かり、お母さんたちがお菓子を作つたりお寿司を作つたりと腕をふるいます。お互いに初めて出会つたお母さんたちですが、協力し合つて作っています。そのあと子どもたちと一緒に食べます。お母さんたちと離れて寂しかった子どもたちはおいしい料理を、楽しそうな顔をしてほおばつています。

「わいわい親子あそび」は

親子一緒に体を使つた遊びや紙芝居、身近にあるものを使いおもちゃ作りなど毎回多くの親子でにぎわいます。

「わいわいフォーラム」は全體の研修として年一回開催

されています。毎回タイムリーな講演を聴きますが、子育て支援をしていくなかで、何が大切かといつも考えさせられます。

茨木市民児協



おかあさんのおひざは安心

1匹1匹が委員による手作りの魚つりコーナー



大東市民生委員児童委員協議会では、平成15年度より児童福祉部会と主任児童委員が中心となり「子育てフェスティバル」を主催しています。

「子育てフェスティバル」とは、子育てにゆとりがない、育児に自信がないなどの育児不安や閉塞感を少しでも軽減し、子どもが豊かに育つよう支援することを目的としています。

また、平成21年度からは毎年3月にボランティア団体連絡会・社会福祉協議会による「ボランティアフェスティバル」と合同で実施するようになりました。

今年は3月10日（日）、大東市立総合福祉センターに

大東市民児協

〔民児協だより〕

「河北ブロック」大東市

大東市民生委員児童委員協議会では、平成15年度より児童福祉部会と主任児童委員が中心となり「子育てフェスティバル」を主催しています。

「子育てフェスティバル」とは、子育てにゆとりがない、育児に自信がないなどの育児不安や閉塞感を少しでも軽減し、子どもが豊かに育つよう支援することを目的としています。

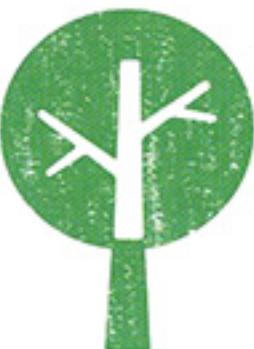
また、平成21年度からは毎年3月にボランティア団体連絡会・社会福祉協議会による「ボランティアフェスティバル」と合同で実施するようになりました。

て開催しました。人形劇団カッパ座による寸劇「はなまるあいさつ」の上演やバルーンアート、トンネルくぐり、ボーリング、的当て、的入れ、魚つりなど各種遊びコーナーを多数の委員が担当しました。

「子育てフェスティバル」を行った3月の時期には、東日本大震災を思い出します。どんなに頑張っても防ぎようない自然界の恐ろしさ。私たちは、せめて人の手と心で子どもたちに優しさを伝え、生きる喜びと夢を手助けしてあげたいと心から思います。



等身大ぬいぐるみ人形劇団
カッパ座による寸劇「はなまるあいさつ」



【河南ブロック】羽曳野市

「顔の見える民生委員・児童委員活動」を展開

羽曳野市民児協は、14校区187名の定員で市民の地域福祉の向上に、関係方面と協力して活動しています。毎年5月には、市民フェスティバル「はひきの祭」への参加をはじめ、民生委員・児童委員の市民への知名度アップにむけ、民生児童委員の日

を中心に、市役所正面玄関に「5月12日は民生委員・児童委員の日」の大型垂れ幕を揚げ、同時に「電光掲示板」でも同様の周知を図っています。また、地域の住民の方に担当もらうため、行政の設置する町会掲示板に「担当委員名」の銘板を取り付ける事業を実施しております。

地域に密着した「顔の見え

る民生委員・児童委員活動」が積極的に展開でき、委員各自が自信と誇りをもち、信頼される委員として今後も引き続き活動することを期待しています。

「民生委員の日」PRの懸垂幕。羽曳野市役所本庁にて



羽曳野市民児協



5月5日羽曳野市民フェスティバルにて。みたらし団子の販売と、PRグッズの配付をしました



羽曳野市広報版の下にそれぞれの地域を担当する民生委員の氏名、電話番号の札を取り付けました

【泉州ブロック】

泉
南
市

〔民児協だより〕

子育て支援部会の活動について

泉南市民児協子育て支援部会は女性部会の発展的解消によって立ち上げた部会です。

主な活動として子ども支援センター事業の支援・わんぱく子育成推進会議の主催による親子教室「赤

ちゃん教室」での支援活動などを実行きました。

平成24年度、市町村民児

協事業に対する助成事業の支援を受けることになり、地域の人たちと交流を図るために、新しく人形劇の上演活動に取り組むことにしました。

部員が3つのグループに分かれ、それぞれのグループごとに活動します。人形を動かすことなど初めてで、人形に集中するとせりふが言えない、中腰の姿勢はしんどい、せりふが覚えられないなど、困ったことばかりでした。

しかし、練習を重ねていくにつれ、上手くいくようになります。グループ内の部員同士のつながりも今まで以上に深まり、結束力も高まりました。

そして、子育て支援センターのクリスマス会や高齢者のサロンにおいて人形劇を上



子育て支援センター「ひだまり」
クリスマス会での人形劇の上演



演し、参加者のみなさまには楽しんでもらえることができました。

今後も積極的に各地区的サロンなどに出向いて人形劇の上演活動を行い、地域の人たちとのふれあいを大切にしつなぎを深めていきたいと思います。

泉南市民児協
部会長 竹中 智受代



山の井サロンでの人形劇上演

一齊改選の引き継ぎ準備のポイント～再確認しましょう～

今年の12月に一齊改選を迎えます。委員の交替により地域で活動が滞つてしまつたり支援していた住民に影響を与えることのないように引き継ぎを円滑に進めることが重要です。

引き継ぎポイントとしては福祉票等支援に必要な情報や記録が引き継がれることと同時に民生委員・児童委員としての職務内容の理解や守秘義務等のルールや心構えについてもしっかりと引き継ぎを行いましょう。

【ポイント①】

「福祉票」等については退任前までに記載内容を点検し最新の情報が反映されているように確認しましょう。

【ポイント②】

「福祉票」等には個人のプライバシーに関わる情報が含まれているため、引き継ぎの際には充分注意しましょう。

【ポイント③】

書類の引き継ぎだけでなくそれまでの活動の経験に基づいた地域状況や福祉課題等についても引き継ぎを行いましょう。

【ポイント④】

新任委員が住民との信頼関係を円滑に築けるように前任委員は後任委員の相談にのりアドバイスを行う等サポート体制を築きましょう。

【ポイント⑤】

新任委員に前任委員から民生委員活動のやりがいや喜びを伝えることで新任委員の意欲や積極的な活動につなげましょう。

■主に引き継ぎが必要な諸票・活動マニュアル等

● 福祉票

●活動記録（定員増・欠員補給における新任委員へは無償配布予定）

●「民生委員・児童委員活動と個人情報保護に関する手引き」（定員増・欠員補給における新任委員へは無償配布予定）

●「民生委員児童委員活動ハンドブック」

（改訂版を全民生委員に配布予定、改訂版発行までは前任者の物を引き継ぐ）

事務局だより

大阪府民児協連事務局 新体制のお知らせ

平成25年度を迎えて、4月から事務局の担当者が変更しております。

■事務局長 森垣 学（新）
■事務局次長 西原弘将

市川香織
中畑幸子

宜しくお願いいたします。

表紙の商品と作業所の紹介

●社会福祉法人
大阪聴覚障害者福祉会

大阪市

「あいらぶ工房」のみなさん

あいうえおの50音を一字ずつ指を使って表す「指文字」。聴覚障がい者のコミュニケーション手段の一つです。大阪市港区にある「あいらぶ工房」では、この指文字をプリントした「ゆびもじクッキー」を製造・販売しています。

「あいらぶ工房」は、聴覚障がい者の施設が欲しいという願いから開設された重複聴覚障がい者のための通所施設で、クッキーやパンの製造・販売と軽作業を行っています。この「ゆびもじクッキー」は、同じ法人が運営する熊取町の入所施設「なかまの里」とともに、「聴覚障がい者の施設」という特徴が出せる商品をつくれないか」という声から生まれたもの。四角く焼き上がったクッキーに、指文字が食用のパウダーインク(ラボノイド色素)によりプリントされています。

開設当初から販売されており、結婚式のブチギフトやさまざまな行事での記念品として人気を集めています。



「ゆびもじクッキー」の焼付け板



編集後記

今年12月に一斉改選を控え、さまざまな準備に追われている頃と存じます。大阪府民児童協連としてもこれまで進めてきた活動を振り返り、新たな体制のもとで活動を進めていく出発点としたいと考えております。猛暑はすぐそこ。ご自愛下さい。

Well おおさか
vol.29
(通巻63号)

発行日:平成25年7月

発行:大阪府民生委員児童委員協議会連合会

事務局:大阪市中央区中寺1-1-54 大阪府社会福祉協議会内

TEL.06-6762-9486 FAX.06-6762-9487

URL <http://www.osakafusyakyo.or.jp/minkyo/>



パンの成形や袋詰め、焼き上がったパンを店へと並べる、利用者さんたち。どの作業を担当するかは、日によって変わります。

クッキーは5個セットを基本に販売しており、いろいろな文字を組み合わせることができます。「名前で組み合わせたものが欲しいという場合や、記念品にしたいので何十個くださいと注文される方が多いですね」とスタッフ。プリント用の型は特注品で最初は指文字だけでしたが、お客様の要望から「ありがとう」「おめでとう」を表す手話や数字なども増やしたといいます。

クッキーとパンの製造を行う「パン班」の利用者さんは現在15名。スタッフとともに、午前中はパンを、午後は主にクッキー作りを行っています。工房で作られたパンやクッキーは、施設内にあるベーカリーカフェで販売しているほか、港区内の福祉施設や行事など、さまざまな場所で出張販売を行っています。約50種のパンを販売しているベーカリーカフェは、地域のみなさんの憩いの場となっており、満員になることが多いそうです。

おいしいクッキーを食べながら指文字を覚えられる「ゆびもじクッキー」。おやつにいかがですか?



お問い合わせ先

〒552-0023 大阪市港区港晴1-7-4

TEL/06-4395-7588 FAX.06-4395-7589



この冊子は再生紙を使用しています。